

ちまたで目にする



トレンド用語解説

【フィルターバブル】

(ジャンル:インターネット)

ネット利用者がネット上で検索・クリックする履歴情報がフィルタリングされて利用者の見たい情報だけが優先的に表示される状態。利用者の観点に合わない情報からは隔離され、自身と同じ価値観のバブル(泡)の中に孤立する情報環境のこと。

代表的な事例が2016年の米国大統領選挙。選挙期間中のFacebookで、トランプ氏支持者にはトランプ氏支持の投稿が、クリントン氏支持者にはクリントン氏支持の投稿のみが表示され、誰もが自分の支持者が優位だと錯覚してしまったというもの。

ネットを閲覧する際には、発信者の思惑を含め、情報の信頼性に注意したい。

とうけいきょう 2024年8月号より

警備員スピリット

第3章 関係法令 第2節 憲法



(3) 不法に逮捕されない自由

参照条文(憲法)

(逮捕の要件)

第33条 何人も、現行犯として逮捕される場合を除いては、権限を有する司法官憲が発し、且つ理由となつてゐる犯罪を明示する令状によらなければ、逮捕されない。

第31条において一般的な法定手続きの原則が示されているが、ここでは、特に刑事手続きにおける被疑者の逮捕の要件について明らかにしている。

ここでいう「逮捕」とは、刑事手続きとして身体を拘束することをいい、犯罪の容疑が相当確実である場合に、実力をもってその身体を拘束する行為をいう。

本条において「権限を有する司法官憲」とは、裁判官を指し、検察官や司法警察職員は含まれない。これは捜査機関による被疑者などに対する身体の不当な拘束を、裁判官や裁判所によって加えられる抑制によって防ぐためのものである。この規定を受けて、刑事訴訟法第199条には、「裁判官が発する逮捕状」と規定している。

「令状」とは、刑事訴訟法における逮捕状のほか、勾引状及び勾留状を含む。刑事訴訟法上、逮捕状は逮捕権を行使するについての許可状とされ、これに対し、勾引状及び勾留状は、裁判所が捜査機関に対して出す命令書とされている。逮捕については、原則として「令状主義」がとられており、緊急逮捕として令状なくして逮捕し、その直後に逮捕状を請求する場合は、通常逮捕の例外とはいえ、それでもなお、令状主義の範疇に入る。しかし、現行犯逮捕だけは令状主義の例外とされている。

「現行犯」には「準現行犯」も含まれ、現行犯人は、何人でも逮捕状なくして逮捕することができる。

全国警備業協会編集・発行「警備員教育教本」より

編集後記

この夏は毎日のようにゲリラ豪雨に辟易させられました。決まって夕方以降に一瞬で雲が大きくなり、ものすごい雷と豪雨。本当に日本なのかと思うような異常気象に、地球の今後が心配になってしまうような夏でした。そんな異常気象の中で道路交通誘導を頑張る警備員の皆様には本当に頭が下がります。数メートル先も見えないような豪雨の中での警備業務は事故が起きてもおかしくはありません。自らの命を守るのは、自分自身です。怪我や事故に気をつけ元気に働き続ける事ができるように心掛けていきましょう。

■弊社対応エリア

急なご依頼にも一都三県、対応可能です。まずはお問合せください。



【東京都】

- 千代田区 ○中央区 ○港区 ○新宿区
- 文京区 ○台東区 ○墨田区 ○江東区
- 品川区 ○目黒区 ○大田区 ○世田谷区
- 渋谷区 ○中野区 ○杉並区 ○豊島区
- 北区 ○荒川区 ○板橋区 ○練馬区
- 足立区 ○葛飾区 ○江戸川区 ○三鷹市
- 府中市 ○八王子市 ○立川市 ○武蔵野市
- 昭島市 ○調布市 ○町田市 ○小金井市
- 日野市 ○国立市 ○国分寺市 ○狛江市
- 東大和市 ○武蔵村山市 ○多摩市 ○稲城市

■会社概要

| | |
|-------|---|
| 社名 | 恒榮警備保障株式会社 |
| 所在地 | 東京都調布市布田3丁目55番地17 |
| 設立 | 平成3年11月 |
| 資本金 | 1200万円 |
| 代表取締役 | 今泉 紀 |
| 従業員 | 社員7名 警備員総数85名 |
| 業務内容 | 交通誘導業務 |
| 社員寮 | 中野寮、永山寮、矢野口寮、橋本寮 |
| 免許 | 東京都公安委員会認定第30001567号 |
| 加盟団体 | 全国警備業協会加盟 東京都警備業協会加盟 多摩地区警備業連絡協議会加盟 |

(令和6年9月現在)

交通誘導のプロ集団

恒榮警備保障株式会社

東京都調布市布田3丁目55番地17
TEL.042-487-5881(代) FAX.042-443-0366
<http://www.kouei-corp.jp/>

KOUEI 通信

ALWAYS We Provide the Best Service with the Best Mind.

2024年
秋

Vol.38



